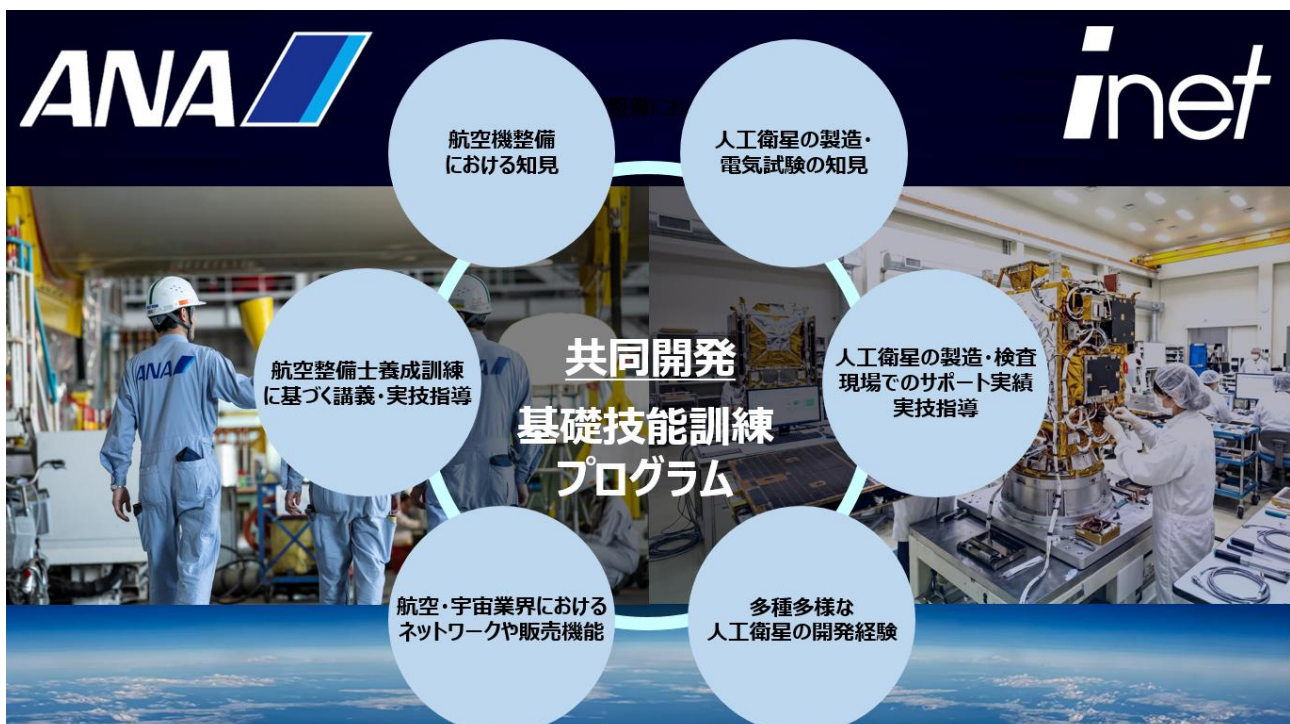


ANAホールディングスとアイネットは、航空整備士養成訓練を応用した 衛星製造・検査事業者向け基礎技能訓練プログラムの共同開発 およびサービス提供の検討を開始します

- ANAホールディングスとアイネットは、航空整備士養成訓練を応用し、「宇宙スキル標準」レベル1相当の衛星製造・検査事業者向け基礎技能訓練プログラムの共同開発、サービス提供に向けた検討を開始します。
- ANAグループの整備部門が培った安全文化や航空整備士養成のノウハウ、アイネットの人工衛星開発における知見を融合し、人工衛星開発に係る知識付与や実技による技術教育を通じて、宇宙産業における技術人材を創出していきます。

ANAホールディングス株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:芝田 浩二、以下「ANAHD」)は、株式会社アイネット(本社:神奈川県横浜市、代表取締役社長:佐伯 友道、以下「アイネット」)と提携し、人工衛星開発に係る知識付与や実技による技術教育を組み合わせた衛星製造・検査事業者向け基礎技能訓練プログラムの共同開発、およびサービス提供に向けた検討を開始します。

本検討では、ANAグループの整備部門が培った安全文化や航空整備士養成におけるノウハウと、多種多様な人工衛星開発の実績を持つアイネットが培った製造・電気試験の知見との融合を図ります。さらに、航空・宇宙産業で豊富な経験を積んだ講師陣による実践的な指導に加え、航空・宇宙サプライチェーンにおけるネットワークと販売機能も一体化させることで、実効性の高い訓練プログラムの開発・提供を目指します。



■ 背景と目的

近年、宇宙空間を活用した社会課題解決のため、人工衛星の製造需要が高まる一方で、人工衛星製造や検査に携わる人材供給や育成体制の構築が喫緊の課題となっています。こうした状況下、内閣府は宇宙産業における人的基盤の強化を掲げ、「宇宙スキル標準」※を策定しており、官民を挙げた早急な対策が求められています。ANAホールディングスとアイネットは、基礎技能訓練プログラムの開発、サービス提供を通じて、宇宙産業における技術人材を創出していきます。

※ ロケットや人工衛星の研究・設計・開発・製造・打上げ・運用・デザイン・提供等の従事者が身につけるべきスキルのこと

<https://www8.cao.go.jp/space/skill/kaisai.html>

■ 訓練プログラムの概要

- ・内 容：「宇宙スキル標準」レベル1に準拠
座学による知識習得と実技訓練を組み合わせた実践的プログラムを予定
- ・販売開始時期：2027年初頭予定
- ・実施場所：ANAグループの訓練施設及び整備施設（東京都大田区）

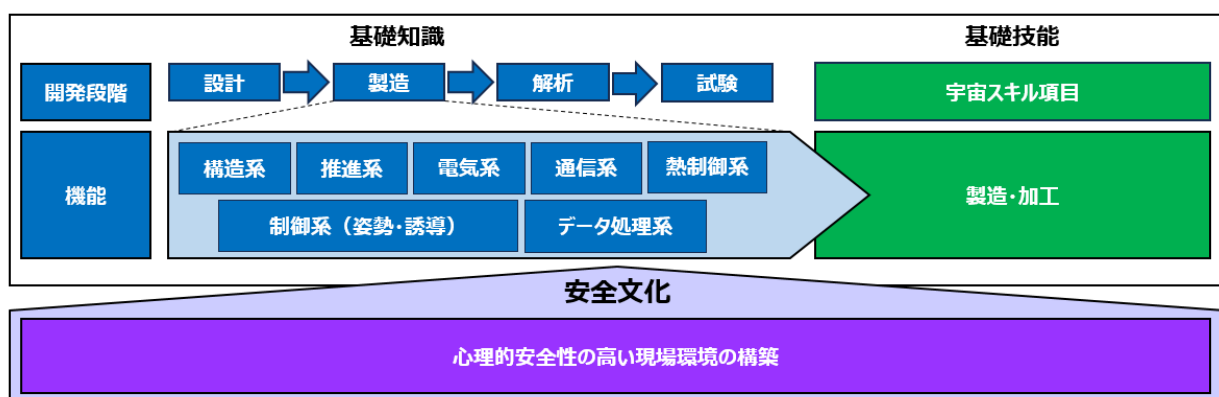
■ 各社が担う役割

・ANA ホールディングス

ANA グループの整備部門が培った安全文化を参考に、心理的安全性の高い現場環境の構築をサポートします。また、毎年約100名の航空整備士を養成し続けるANAグループ独自の育成体系や技術訓練の知見を応用し、「宇宙スキル標準」レベル1に準拠した訓練プログラムを構築します。

・アイネット

半世紀にわたる衛星開発の現場で培った「技術」を、実践的な訓練プログラムへ組み込みました。設計・製造から過酷な宇宙環境での試験までを一貫して手がけてきたアイネットだからこそ、宇宙という極限環境で「確実に動くものづくり」の基礎を、次世代の技術者へ着実に継承するための基本技能の習得を強力に支援します。



訓練プログラムのイメージ図

以上

【報道機関からのお問い合わせ先】

ANA ホールディングス株式会社 広報・コーポレートブランド推進部 03-6735-1111

株式会社アイネット 経営戦略部 045-682-0806

↳ サービス内容について 宇宙ソリューション事業部 03-5480-3500